

北海道・東北

合格基準

120 問中 84 問以上を正解すること、かつ、各章の正解率が 40%以上であること

合格率

北海道 62.3% 青森 54.9% 岩手 51.5% 宮城 55.0% 秋田 50.0%
山形 52.5% 福島 47.5%

第 1 章 医薬品に共通する特性と基本的な知識

問 1 正答 2 ★★★

- a, d 正
- b 医薬品は生命関連製品で、その有用性が認められたものであるが、使用には保健衛生上のリスクを伴う。
- c 医薬品は、人の疾病の診断、治療又は予防に使用されるものである。

問 2 正答 3 ★★★

- a 医薬品は、市販後にも、その有効性、安全性等の確認が行われる。
- b, d 正
- c 登録販売者は、健康被害の発生の可能性の有無にかかわらず、異物等の混入、変質等がある医薬品を販売してはならない。

問 3 正答 1 ★★★

- a, b, d 正
- c 少量の医薬品の投与であっても、長期投与されれば慢性的な毒性が発現することがある。

問 4 正答 1 ★★★

- a, b, c 正
- d 正

関連

一般用医薬品の販売時には、購入相談者等の健康に関する意識を尊重しつつも、必要があれば健康食品の摂取についての指導も行うべきである。

問 5 正答 4 ★★★

- 1, 2, 3 正
- 4 セルフメディケーション税制の対象となる一般用医薬品は、スイッチ OTC 医薬品のほか、腰痛や肩こり、風邪やアレルギーの諸症状に対応するものである。

問 6 正答 3 ★★★

- a, b, d 正
- c 医薬品でアレルギーを起こしたことがない人でも、病気等に対する抵抗力が低下している状態では、思わぬアレルギーを生じることがある。

問 7 正答 2 ★★★

- a 人体に直接使用されない医薬品でも、使用する人の誤解や認識不足によって使い方や判断を誤れば、副作用につながることもある。
- b 便秘薬や総合感冒薬、解熱鎮痛薬などの長期連用で、肝臓や腎臓などの医薬品を代謝する器官を傷めることがある。
- c 一般用医薬品の長期連用で、精神的な依存がおこることがある。
- d 正

問 8 正答 1 ★★★

- a 正

関連

医薬品の乱用の繰り返しによって、慢性的な臓器障害等を生じるおそれもある。

- b, c, d 正

問 9 正答 1 ★★★

a, b 正

- c 酒類をよく摂取する者では、肝臓の代謝機能が**高まっている**ことが多いため、体内から医薬品が速く消失して十分な薬効が得られなくなることがある。
- d 食品は、外用薬や注射薬の作用や代謝に影響を**与えることがある**。

問 10 正答 4 ★★★

a, d 正

- b 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が**長く**、医薬品の吸収率が相対的に**高い**。
- c 家庭内において、医薬品は、小児が容易に手に取れる場所や小児の目につく場所に**置かない**ことが重要である。

問 11 正答 5 ★★★

- a プラセボ効果とは、医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に**薬理作用によらない作用**を生じることをいう。
- b プラセボ効果は、時間経過による自然発生的な変化等が**関与して生じる**と考えられている。
- c プラセボ効果によってもたらされる反応や変化には、望ましいもの(効果)と不都合なもの(副作用)とが**ある**。
- d プラセボ効果は、客観的に測定可能な変化として現れることが**ある**。

問 12 正答 3 ★★★

- 一般用医薬品は、「**医薬品**のうち、その効能及び効果において人体に対する作用が**著しくない**ものであって、薬剤師その他の医薬関係者から提供された情報に基づく**需要者**の選択により使用されることが目的とされているもの(要指導医薬品を除く)」である。(法第4条第5項第4号)

問 13 正答 3 ★★★

1, 2, 4 正

- 3 医薬品は、適切な保管・陳列をしても、経時変化による品質の劣化は**避けられない**。

問 14 正答 5 ★★★

- 購入者等から確認しておきたいポイントは、以下のとおりである。
- ①**何のためにその医薬品を購入しようとしているか**
- ②その医薬品を使用するのは情報提供を受けている当人か、又はその家族等が想定されるか
- ③その医薬品を使用する人として、小児や高齢者、妊婦等が想定されるか
- ④**その医薬品を使用する人が医療機関で治療を受けていないか**
- ⑤**その医薬品を使用する人が過去にアレルギーや医薬品による副作用等の経験があるか**
- ⑥その医薬品を使用する人が相互作用や飲み合わせで問題を生じるおそれのある他の医薬品の使用や食品の摂取をしていないか
- ⑦その医薬品がすぐに使用される状況にあるか
- ⑧**症状等がある場合、それはいつ頃からか、その原因や患部等の特定はなされているか**

問 15 正答 3 ★★★

a, d 正

- b CJD は、細菌でもウイルスでもない**タンパク質**の一種であるプリオンが原因とされた。
- c ○**スモン**は、初期には腹部の膨満感から激しい腹痛を伴う下痢を生じ、次第に下半身の痺れや脱力、歩行困難等が現れる。
- CJD は、**次第に認知症に類似した症状が現れ、死に至る重篤な神経難病**である。

問 16 正答 2 ★★★

1, 3, 4 正

- 2 ○キノホルム製剤は、**米国**では、1960年にアメラ赤痢への使用に限ることが勧告された。
- キノホルム製剤は、日本では、**1970年9月**に販売が停止された。